**第152回　福岡産科婦人科学会**

プ　ロ　グ　ラ　ム

会　場　九州大学病院　臨床大講堂、臨床小講堂１

 　 　　　〒812-8582　福岡県福岡市東区馬出3-1-1

 　　　 　　　TEL 092-642-5395

（**当初の九州大学医学部コラボステーションより変更になっております。**）

日　時　 平成28年1月24日（日曜日）

 9：00 〜 理 事 会 (2階臨床小講堂1)

 10：00 〜 専門医制度委員会ならびに

学会雑誌編集委員会　 (2階臨床小講堂1)

 10：30 〜 評議員会 (4階臨床大講堂)

12：00 〜 ランチョンセミナー (4階臨床大講堂)

13：10 〜 総 会 (4階臨床大講堂)

 13：30 〜 学術講演会 (4階臨床大講堂)

 17：06 　 終　　　　　　了

 1.　 講演時間は6分、質疑3分。

2. 発表はPCパソコンで行います。必ずパソコンをお持ち下さい。

3. 枚数に制限はありませんが、講演時間に応じた常識的な枚数でお願い致します。

 4. 会参加費は1,000円です。今回、昼食はランチョンセミナーとなっております。

 5.　ランチョンセミナーは専門医共通講習の感染対策講習会として1単位が付与されます。

 6. 本学術集会は日産婦専門医制度研修会に認定されていますので、e医学会カード（UMINカード）をご持参下さい。

 担　当 九州大学医学部　婦人科学産科学教室

 主　催 福　岡 ブ ロ ッ ク

**ランチョンセミナー（共催：塩野義製薬株式会社）**

**12：00〜13：00**

座長：　加藤　聖子（九州大学）

「産婦人科領域の感染対策」

下野　信行（九州大学病院　グローバル感染症センター長）

※本セミナーは専門医共通講習（日本専門医機構）の必修講習である感染対策

講習会としてセミナー終了後、1単位が付与されます。

**一　般　講　演**

**第1群) 13：30〜14：15**

 座長：岡　智（福岡山王病院）

1. 妊娠後半の胎児巨大膀胱がきっかけで出生後早期に診断がついた尿生殖洞異常の一例

福岡新水巻病院 ○藤　尾　加代子

2. 妊娠後期に指摘された腹部胎児リンパ管腫の一例

久留米大学 ○山　㟢　　　剛・堀之内　崇　士

 　藤　田　智　之・品　川　孝　昭

 　上　妻　友　隆・堀　　　大　蔵

 　牛　嶋　公　生

3.　 臍帯内ヘルニアの破裂をきたした先天性小腸閉鎖症の1例

 北九州市立医療センター ○清木場　　　亮・北　村　知恵子

 　城　戸　綾　子・甲　斐　翔太朗

 　網　本　頌　子・髙　津　広　美

 　小　川　尚　子・舘　　　慶　生

 　中　野　章　子・竹　内　正　久

 　田　中　浩　正・尼　田　　　覚

　同　総合周産期母子医療センター

　 　髙　島　　　健

4. 子宮卵管造影検査が原因と思われる胎児甲状腺腫の一例

　福岡市立こども病院　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○太　崎　友紀子・北　代　祐　三

住　江　正　大・中　並　尚　幸

福　嶋　恒太郎・月　森　清　巳

5. 妊婦健診中に腎臓位置異常として管理し、出生後に腸回転異常症と診断した一例

　田川市立病院 ○江　夏　国　宏・魚　住　友　信

 　 　宮　崎　順　秀・椎　名　隆　次

 　 　藤　田　拓　司

　同　小児科

倉　田　浩　昭・日　高　智　子

菅　　　尚　浩

　飯塚病院小児外科

福　原　雅　弘・中　村　昌　俊

**第2群) 14：15〜15：00**

 座長：内田　聡子（浜の町病院）

1. 手術困難な合併症を有する過多月経、機能性子宮出血症例に対し、マイクロ波子宮内膜

アブレーションを施行し止血を得た2例

 九州大学 ○髙　山　　　彩・江　頭　活　子

 　日　浅　佳　奈・河　村　英　彦

 　横　田　奈津子・南　　　千　尋

 　加　藤　聖　子

2. 子宮を温存する新たな腹腔鏡下仙骨子宮固定術

 産業医科大学若松病院 ○西　村　和　朗・星　野　　　香

 　吉　村　和　晃

 産業医科大学

 　蜂須賀　　　徹

3.　腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に腹膜播種性平滑筋腫症を認めた１例

浜の町病院 ○蓑　原　沙　和・竹　内　麗　子

 　中　原　一　成・神　保　友　香

 　道　脇　理　恵・前　原　　　都

 　藤　原　ありさ・大　石　博　子

 　内　田　聡　子・上　岡　陽　亮

 　井　上　善　仁

4.　 生体腎移植後患者に腹腔鏡下子宮全摘出術を施行した一例

 原三信病院 ○田　中　章　子・片　岡　惠　子

 　津　田　知　輝

5. 思わぬ鉗子破損の一例

 国立病院機構九州医療センター ○蓮　尾　泰　之・濱　崎　洋一郎

 　小　川　昌　宣・蔵　本　和　孝

 　宗　 　邦　夫・堀　岡　敬　子

 　槝之浦　佳　奈・富　田　友　衣

 　松　本　　　恵・久　保　紀　夫

**第3群) 15：00〜15：45**

 座長：小濱　大嗣（あまがせ産婦人科）

 1. 当科における過去11年間の外回転術症例の検討

 森下産婦人科医院 ○森　下　哲　哉・森　下　富士夫

 　森　下　　　裕

2. 長期血液透析中に自然妊娠し生児を得た1型糖尿病合併妊娠の1例

九州大学 ○中　村　友里恵・近　藤　有希子

 　佐　藤　由　佳・原　　　枝美子

 　村　田　将　春・日　高　庸　博

 　藤　田　恭　之・加　藤　聖　子

3. 妊娠経過中に出血をきたし脱落膜塊が排出された双角子宮妊娠の一例

福岡市立こども病院 ○中　並　尚　幸・北　代　祐　三

 　太　崎　友紀子・住　江　正　大

 　福　嶋　恒太郎・月　森　清　巳

4. SMI(superb micro-vascular imaging)を用い、既往帝切、前置胎盤症例における子宮筋層菲薄化を診断し得た一例

福岡大学 ○木　村　いぶき・荒　木　陵　多

 　平　川　豊　文・夏　秋　伸　平

 　四　元　房　典・伊　東　智　宏

 　讃　井　絢　子・吉　里　俊　幸

 　宮　本　新　吾

5. 稽留流産後に過大着床部を生じた１例

 久留米大学 ○大久保　　　卓・深　川　知　明

 　河　野　光一郎・吉　満　輝　行

 　田　崎　瑠璃香・田　崎　和　人

 　西　尾　　　真・津　田　尚　武

 　園　田　豪之介・牛　嶋　公　生

同　病理学講座

 　真　田　咲　子

**第4群) 15：45〜16：30**

 座長：有吉　和也（九州がんセンター）

 1. 子宮体癌術後に多発性脳梗塞を発症した1例

 福岡大学 ○藤　田　みずき・阿　南　春　分

 　吉　川　賢　一・井　槌　大　介

 　清　島　千　尋・伊　東　裕　子

 　近　藤　晴　彦・宮　原　大　輔

 　城　田　京　子・宮　本　新　吾

2. エストロゲン過剰を伴う多量性器出血と多発脳梗塞を同時に来したⅠ期卵巣癌

産業医科大学 ○田　尻　亮　祐・植　田　多恵子

 　青　山　瑶　子・櫻　木　俊　秀

 　金　城　泰　幸・村　上　　　緑

 　愛　甲　悠希代・卜　部　理　恵

 　栗　田　智　子・鏡　　　誠　治

 　川　越　俊　典・蜂須賀　　　徹

　　同　産業保健学部

 　松　浦　祐　介

3. 再発をきたした子宮ポリープ状異型腺筋腫（APAM）の1例

 飯塚病院 ○安　藤　美　穂・遠　山　篤　史

 　空　野　すみれ・松　岡　咲　子

 　山　本　広　子・中　村　寿美得

 　藤　　　庸　子・深　見　達　弥

 　後　藤　麻　木・松　岡　良　衛

 　辻　岡　　　寛・江　口　冬　樹

4. 当院における強度変調放射線治療(IMRT)について

 北九州市立医療センター ○甲　斐　翔太朗・竹　内　正　久

 　城　戸　綾　子・清木場　　　亮

 　網　本　頌　子・髙　津　広　美

 　小　川　尚　子・舘　　　慶　生

 　中　野　章　子・北　村　知恵子

 　田　中　浩　正・尼　田　　　覚

同　総合周産期母子医療センター

　 　髙　島　　　健

5. 難治性疼痛に対して異なるオピオイドの併用により疼痛コントロールが可能になった

放射線性仙骨肉腫の症例

 大牟田市立病院 ○桃　嵜　正　啓・朴　　　鐘　明

 　松　隈　　　健・望　月　一　生

**第5群) 16：30〜17：06**

 座長：小川　昌宣（九州医療センター）

1. 当院における特定妊婦の状況とその出生児の転帰

 飯塚病院 ○空　野　すみれ・酒　井　さやか

 　松　岡　咲　子・遠　山　篤　史

 　山　本　広　子・中　村　寿美得

 　藤　　　庸　子・深　見　達　弥

 　後　藤　麻　木・松　岡　良　衛

 　辻　岡　　　寛・江　口　冬　樹

　　同　小児科

 　神　田　　　洋・岩　元　二　郎

2. 産後に大量性器出血を来たし仮性動脈瘤破裂が疑われた一例

国立病院機構九州医療センター ○久　保　沙　代・富　田　友　衣

 　蔵　本　和　孝・宗　　　邦　夫

 　堀　岡　敬　子・槝之浦　佳　奈

 　濵　﨑　洋一郎・松　本　　　恵

 　小　川　昌　宣・蓮　尾　泰　之

 　久　保　紀　夫

3. 非典型的な臨床経過を示し子宮摘出術にて診断に至った癒着胎盤の一例

国立病院機構小倉医療センター　　　　 ○小　野　結美佳・河　村　京　子

 　浦　郷　康　平・深　川　真　弓

 　川　島　麻里江・中　川　　　瞳

 　近　藤　恵　美・川　上　浩　介

 　長　尾　弘　子・元　島　成　信

 　川　越　秀　洋・ｳﾛﾌﾞﾚｽｷ 順　子

 　牟　田　　　満・大　藏　尚　文

4. 帝王切開術後の子宮内感染から汎発性腹膜炎をきたし子宮摘出を余儀なくされた一例

 福岡赤十字病院 ○吉　田　紘　子・加　治　佐和子

 　末　永　壮　賢・松　下　知　子

 　吉　富　智　幸・蜂須賀　正　紘

 　北　出　尚　子・衞　藤　貴　子

 　遠　城　幸　子・西　田　　　眞

同　形成外科

 　津　田　雅　由

同　外科

 　小　島　雅　之

九州大学病院周辺地図



交通アクセス

* 車をご利用の場合

 会場には有料の受診者用駐車場がございますが、駐車スペースには限りがありますので、

 できるだけ公共交通機関をご利用いただけますようにお願い致します。

※会場（臨床大講堂、臨床小講堂1）は**ウエストウィング棟**にございます。

**臨床大講堂 ウエストウィング　４階**

**臨床小講堂1 ウエストウィング　２階**